

まちづくり交付金 事後評価シート  
氷見地区

平成21年11月

富山県氷見市

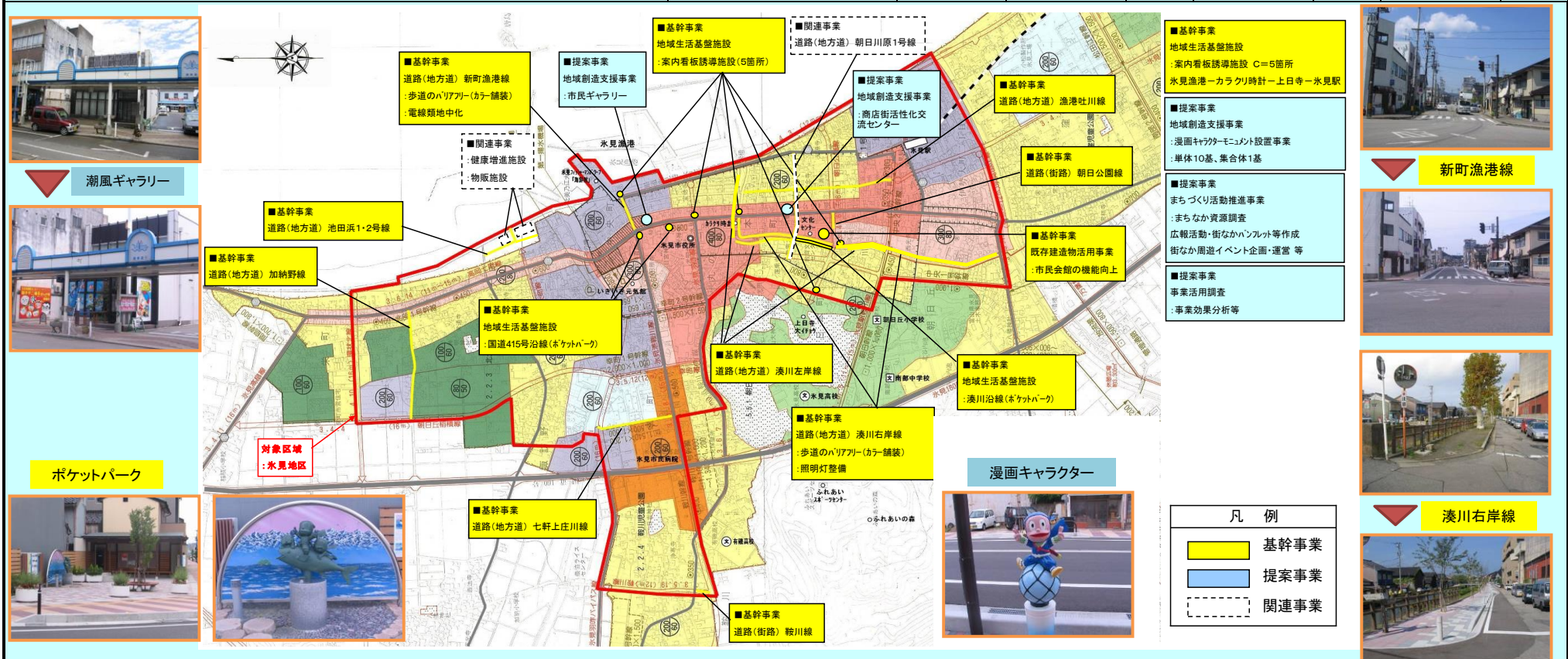
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	富山県		市町村名	氷見市		地区名	氷見地区			面積	232ha		
交付期間	平成17年度～平成21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	855百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路(街路整備:2路線、地方道整備:9路線)、下水道(雨水排水施設)、地域生活基盤施設(緑地、ポケットパーク、案内看板誘導施設)、既存建造物活用事業(市民会館)									
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			基幹事業	①道路(地方道:朝日川原1号線) ②下水道			①周辺施設の整備計画の見直しにより整備時期を検討するため ②他事業(公共下水道)での整備を含め再検討のため			①影響なし ②影響なし(設備の機能に変更なし)			
	新たに追加した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			基幹事業	道路(地方道:池田海岸2号線)			集客拠点整備に伴い、道路整備として新規追加			周辺施設の整備により、指標及び数値目標に関連すると考え得るが、本事業単独での影響はない			
交付期間の変更		当初	-			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-				
		変更	-			-			-				
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	地区内人口の減少削減	人/年	-265	H15	-240	H21	-	-164	○	あり	歩行空間の確保やバリアフリー化による歩行環境整備により、歩行者の快適性向上や歩行機会増大により、地域コミュニティが活発になった。また、地域住民の交流の場の整備により、世代を超えた交流が図られ、地域の魅力値がアップした。	平成22年2月末
	指標2	来街観光客数の増加	人/日	1,712	H15	2,500	H21	-	2,075	△	あり	歩行環境の向上、休憩施設や交流の場の整備、様々なイベントの開催など、観光客数の増大に向けた施策を実施したが、天災(能登半島沖地震)や予定していた集客施設の整備の遅延により、目標値の達成に至らなかった。	平成22年4月末
	指標3	中心商店街の歩行者数の増加	人/時	112	H15	140	H21	-	78	×	あり	様々なイベント開催などによる観光客数増大に向けた施策、住民にとっての歩行環境の向上、休憩施設や交流の場の整備により、観光客等休日の歩行者は増加したが、空き店舗が多いなど、日常生活への需要が不足し商店街の魅力度が不足していた。	-
指標4	地区内イベント参加者数の増加	人/年	142,500	H15	170,000	H21	-	188,691	○	あり	古くから開催されてきたイベントに加え、全国的に著名な地元出身者・藤子不二雄(氏)関連のイベントの開催するなど、新取組みを盛り込んだ様々なイベントにより、イベント参加者数が確保された。	平成22年4月末	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他の数値指標2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の数値指標3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4)定性的な効果発現状況	<道路幅員の拡幅による歩道の設置><側溝の開渠から暗渠への変更に伴う歩行空間の確保>などの歩行者にとっての安全性の確保、<歩道舗装のタイル化、四阿の設置>などの歩行空間(快適性)の改善などの実施によって、歩行環境の改善・向上が図られた。これにより、対象エリア全体において、歩行機会の増加・まちなかコミュニティ(立ち話、散歩、散歩途中の休憩など)の増加などにつながっている。市内のいろいろな名所などを散策する観光客が従来から比べ増加している。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	-			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-				
	住民参加プロセス	①「都市再生整備計画」策定委員会 ②地域創造支援事業:市民ギャラリー 商店街活性化交流サロン			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				①事後の評価においても、当地区在住の各種団体の代表に参加要請し、住民独自の視点から事業結果についての評価、改善策などの提案を受ける ②今後も地域住民だけではなく、来街観光客との交流を目的として、実施の継続				
	持続的なまちづくり体制の構築	-			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-				

## 様式2-2 地区の概要

### 氷見地区(富山県氷見市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値			
大目標: 観光客と住民が行き交うまちなかづくり	地区内人口の減少数削減	単位: 人/年	-265	H15	-240	H21	-164	H21
目標1 中心市街地内の観光資源を結び歩行者ネットワークを形成するとともに、市民会館の機能向上や空き店舗を活用したイベント等の開催によりまちなかへ観光客の誘導を図る。	来街観光客数の増加	単位: 人/日	1,712	H15	2,500	H21	2,075	H21
目標2 市民の生活拠点としての役割を高め、人口流出を抑制し、にぎわいの再生を図る。	中心商店街の歩行者数の増加	単位: 人/時	112	H15	140	H21	78	H21
目標3 交通アクセス条件や交通の安全性及び歩行者の快適性の向上を図る。	地区内イベント参加者数の増加	単位: 人/年	142,500	H15	170,000	H21	188,691	H21
		単位:	-	-	-	-	-	-



**まちの課題の変化**

- ・歩行空間の確保、バリアフリー化などによる歩行環境の向上と点在する休憩休息施設やキャラクターモニュメント設置による演出により回遊性が向上。
- ・地区内道路(街路)の整備に伴う中心市街地内での交通アクセスの向上。
- ・歩行空間の確保、バリアフリー化などによる歩行環境の向上と点在する休憩休息施設や交流の場の整備によるコミュニティの向上。

**今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)**

健康増進施設・物販施設建設予定地付近の海岸線整備(緑地整備)を推進し、回遊ネットワークの拡大・充実を図る。キャラクターモニュメントの増設、広報活動の更なる実施など、藤子不二雄(A)ワールドに特化した中心市街地整備の増進を図る。

(改善策: 想定される事業)

- ① 歩道、植栽などの維持管理において、積極的な住民参加と活動に対する支援(ボランティアサポートなどの仕組みづくり)
- ② 空き店舗再生にかかる各種補助事業の創設・実施、マップ・ニュースペーパーなどによる情報発信、案内看板・道標などのデザイン統一(観光圏などの広範囲)、再配置などの整備
- ③ 空き店舗の貸借に関するシステムづくり(仲介)、建ぺい率・容積率の見直しなどの実施
- ④ 海鮮館内や施設周辺の整備(様々な情報発信、漁港内散策路の設置など)や老朽施設の改修、駐車場整備、主要ルートの電柱地中化、歩行環境の向上など
- ⑤ 「氷見カレー」「ぶりしゃぶ」などに加え、新たな「氷見ブランド」の開発や、商工会議所との連携を強化し、商店(経営者)展開、特徴ある商店街の風景(造景)整備など
- ⑥ 観光案内標識・情報などの多言語併記、携帯電話やコンシェルジュなどによる観光案内の仕組み強化、個人観光客の利用を考えた中心市街地と観光地を結ぶ周遊バスの運行など